

## 続 学校点描

予報では今秋から雪マークが付きま  
した。タイヤ交換も済まし、寒い季節  
に備えます。

《最上町立最上中学校》

NO.14 R6. 11. 20

担当：校長

昼休みに伊藤陽菜さんと菅嶋 絢さんが五十嵐文人生徒会長と伴って、校長室にやってきました。合唱コンクールのあとのわずかな時間でダンスをみんなに披露させてほしいとのお願いでした。教頭先生が柴崎妃奈乃さんと長島乃萌さんから、3年間合唱コンの伴奏を指導してくれた音楽の柏倉先生に当日お礼を言いたいという願いがきたという説明を受けました。誰の指示でもなく、自分の考えで動いています。

11月10日に第15回東北JTBボクシング大会が開催され、県代表の菅 将吾さんが優勝しました。

11月9、10日に、岩手県一関市の『一関ヒロセユードーム』で行われた第6回岩手県u15バスケットボール選手権大会で阿部弦太さんが所属するクラブチームが準優勝という結果になり、12月末に名古屋で行われる全国大会に出場する事になりました。

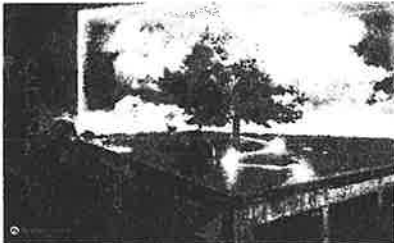
11月10日に米沢市で開催された第66回山新杯ベーター駅伝競走大会で伊藤桃愛さんが2区を走り、中学女子の部で新庄・最上女子駅伝チームの優勝に貢献しました。学校外の活動でも活躍が目立ちます。

中学生のいじめやトラブルのほとんどが SNS に関係したものとなっています。SNS でのトラブルは見つけたときにはすでに手遅れになることが多いです。見えない相手に心を預けると、その手が本当に温かいかどうか確かめることはできないことを知らない中学生がいます。

### SNSがつなぐ世界、本物のつながり

ある日、街を歩いていると、2本の木が目にとまりました。

1本目の木は、とても美しく、鮮やかな緑色の葉が生い茂っています。でも近づいてみると、それはただのデジタルスクリーンでした。遠くから見ると本物の木のように見えますが、近くに寄ると触れることもできなければ、影も生まれません。



一方、2本目の木は普通の木です。傷ついた枝や虫食いの葉もあります。でも、この木の下には涼しい影があり、近くで見るとその生命力を肌で感じるすることができます。

もし今の子どもたちがこの2本の木を見たら、どちらを「美しい」と感じるでしょうか？

ここで、ある中学生の作文を紹介します。宮城県鳴瀬町の中学生、若生千夏さんの心温まる体験談です。

### 『忘れられない出会い』

私は小学校4年生のとき、忘れられない貴重な出会いをしました。それは、「なっちゃん」という一人の女の子でした。

なっちゃんは授業中に急に大声をあげたり、教室を飛び出してしまうたりして、正直に言うと、私は当初とても嫌だと感じていました。

でも、「勉強が少しでもわかる楽しさを知ったら、一緒に学べるかもしれない」と思い、なっちゃんのために2~3ヶ月で終わる簡単な問題集を作ることになりました。

最初はなっちゃんも嫌がって、なかなか取り組んでくれませんでした。それでも諦めずに向き合い続けました。そんな中、ある日、問題集の1ページを終えるたびに、なっちゃんが「描いて」と私に絵をねだるようになりました。

私は一緒に絵を描きました。そのうち、周りの友だちも集まるようになり、みんなで問題を教え合う輪ができました。

問題集の最後のページをやり終えたとき、私はなぜか不思議な満足感で心が満たされました。そして次の日、なっちゃんのお母さんが学校に来て、涙を流しながら「ありがとう」と何度も言ってくださいました。



その問題集の最後のページには、お母さんからの言葉が書いてありました。

**「夏希はだれよりも幸せです。このときのがんばりを忘れるな」**

私は思いきり泣きました。その話を母にすると、母も涙を流してくれました。

その後、私の父の仕事の都合で転校が決まりました。最後の日、なっちゃんは私の手をしっかり握りしめ、離そうともしませんでした。私が「バイバイ」と言っても、まるで小さな子どものように首を振り、涙をぽろぽろと流していました。その瞬間、なっちゃんと私の心が一番深くつながったように感じました。

---

SNSでのつながりは、デジタルの木のようなものです。一見、美しく完璧に見えるけれど、実際には本当の人間の「温かさ」や「影」を感じることは難しいものです。

一方で、リアルな人とのつながりは、ときに不完全に見えることもあるし、傷つくこともあります。でも、そこには「本物の温かさ」や「支え合い」があります。

私たち大人は、子どもたちに「デジタルでは得られない本物のつながりの大切さ」を伝える責任があります。そしてそれが、彼らの未来を豊かにする第一歩になるのではないのでしょうか。

画面越しの言葉は簡単に消えてしまいましたが、そばにいる人の温もりや心の交流は、ずっと心に残ります。

---

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

[Shinyatk1616n@yahoo.co.jp](mailto:Shinyatk1616n@yahoo.co.jp)